

JON の人材育成基盤としての 価値、期待すること

IPA産業サイバーセキュリティセンター

小林 裕士

JANOG54 DAY3 13:30-15:00

「けしからん連合ネットワーク改め、Japan OPEN Network にようこそ！」

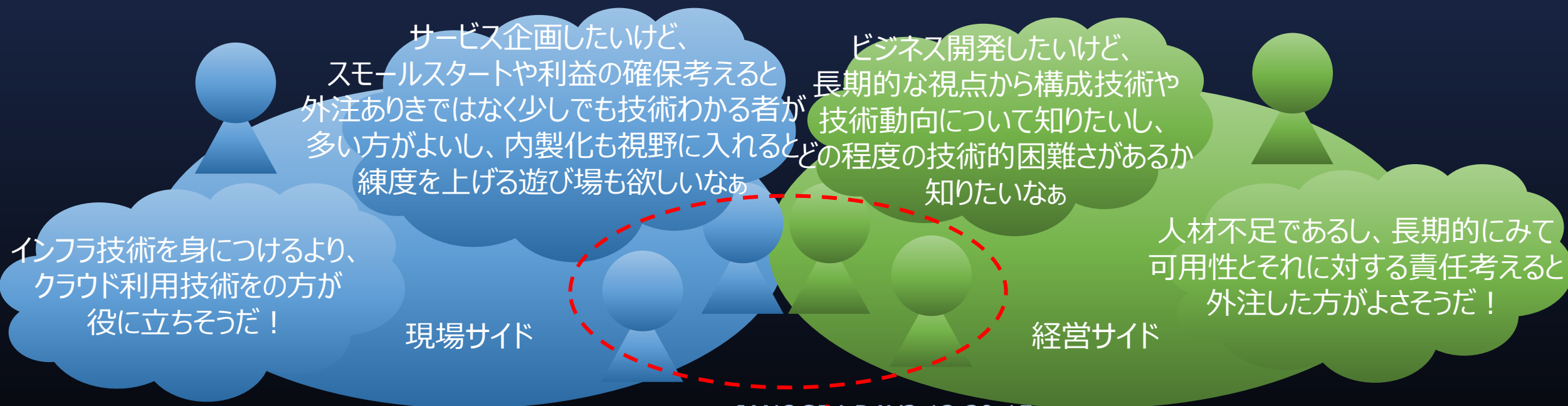
〇〇人材はどこにいった？

- 30代後半から40代前半でコンピュータ・ネットワークに対する関わり方が変わってきており、技術伝承が上手くできてないことでコンピュータ・ネットワークを発展させ運用できる人材が少なくなっているのではないか
- 技術伝承できる環境も必要ではないか



〇〇人材はどこに必要なのか？

- 現場サイドと経営サイドでも視点は違うが同じベクトルで物事を考えている人材はそれなりにおるはずなので、それらの人材が技術習得や体験をすることで新たな可能性が見えてくるのではないか



JANOG 54 DAY3 13:30-15:00
 このへん

「けしからん連合ネットワーク改め、Japan OPEN Network によろこそ！」



JON の人材育成基盤としての価値

- 参加組織が各組織の独自の考えや決まりごと有でリソースを持ちあっていることから、それらの考えや決まりごとを知ることで“リアル”な社会の仕組みを知ることができる
- ○○○エンジニア層の者だけでなく、サービス企画やビジネス開発に従事する者も参加していることから、“リアル”なビジネスの仕組みを知ることができる
- 通信事業を本業としていない組織が多く参加しており、解決した課題にバリエーションがあり、それを解決するということが、コンピュータ・ネットワークの技術要素の習得に留まらないことから、飽きがこず発展・継続できる可能性がある



期待すること

- 本業に集中（投資）するための最適な選択ができる知識・見識を身に付けることができる環境であることが本取り組みの柱のひとつとして意識しての継続を期待したい
- 餅は餅屋であるように本業としてしている方々がいちばんよくわかっているわけであるので、餅屋同士で連携することで $1 + 1$ が 2 以上になれるような関係構築からオールジャパンで皆が発展できる取り組みとなることを期待したい